

■令和6年度 市民防災条例（仮称）制定検討委員会行政視察報告

委員 大淵正文

市民防災条例（仮称）制定検討委員会では、令和6年5月16日及び17日の2日間において、愛知県知多市と静岡県静岡市で行政視察を行いました。

愛知県知多市

知多市みんなで支え合う防災減災推進基本条例について

知多市では、知多市みんなで支え合う防災減災推進基本条例について視察しました。

知多市議会は、平成29年6月に「防災及び減災を推進する特別委員会」を設置し、知多市内における防災及び減災に寄与する条例制定の検討を約1年6か月行い、平成30年12月に本条例を議員発議により制定しました。

条例制定に至るきっかけは、平成28年5月に市議会総務委員会が実施した東日本大震災の被災市である宮城県多賀城市及び同県石巻市での行政視察にあると伺いました。視察後に、議会として知多市の防災対策の現状を把握するため、執行部に対して防災・減災対策の総点検を実施し、それに対する回答を踏まえ、今後の防災・減災対策についての提言を実施しました。

前記特別委員会による検討の過程で、市内各地域の実情や地域ごとに実施している自主防災会の訓練の現状及び取組内容の違いを把握するため、各委員が市内10地域で行われている自主防災会の訓練等への参加により地域の実情を把握し、それを条例制定に係る議論に生かした点が印象的でした。



知多市役所

こうした経緯で制定された本条例は、その条例名に議会としての意気込みや思いが反映されており、また本条例を地域防災計画の上位に位置づけることでその実効性を確保している点が特徴です。

本視察では、条例制定に当たり、各委員が市内各地域における防災・減災に係る取組状況を把握することで、条例制定の意義を明らかにしたこと、条例制定に対する議員の思いが市民に伝わるような条例名にしたことなど参考とする点がありました。

静岡県静岡市

静岡市いのちを守る防災・減災の推進に関する条例について

静岡市では、静岡市いのちを守る防災・減災の推進に関する条例について視察しました。

静岡市は、東海地震や南海トラフ大地震をはじめとした大地震の発生がひっ迫している

(市民防災条例(仮称)制定検討委員会)

といわれている地域であり、議会でも東日本大震災や平成27年の台風第18号の経験から災害対策に非常に高い関心を持っていました。また、行政による公助には限界があることを踏まえ、市民、事業者及び行政が一体となり災害から命を守るため、自助・共助の意識を広く市民に浸透させ、その意識に基づく行動を促すことを目指し、静岡市議会では平成28年2月議会において本条例を議員発議により制定しました。

条例制定の検討過程においては、市民の防災に係る自助の意識向上を図ることを目的に防災に関するSWOT分析を行うことで、静岡市の持つ強み・弱み・機会・脅威の4分野を明らかにするとともに、条例に規定すべき内容を明確にし、市民及び事業者の自助と共助を前面に押し出した条例とした点が特徴です。

また、市民にわかりやすい条例を目指して、条例名について議員間で検討を重ね、条例制定に係る市議会の強い思いを市民に向け発信するために、あえて全議員による起立採決を実施しました。

本視察では、市の防災に関する現状分析の手法としてSWOT分析を用いた点が参考になりました。また、条例制定後に市民に対して条例を浸透させるという点については、本市としても検討が必要だと感じました。



静岡市役所